



〔はじめに〕

この事業は、平成7年から環境庁、日本イヌワシ研究会、日本鳥類保護連盟が中心となって始まったが、平成9年から日本動物園水族館協会種保存委員会猛禽類繁殖検討委員会が雛移入実現に向けて協力することになった。

平成7年から、これまで7回の繁殖期を迎えたが、雛の移入には成功するに至っていない。野外からの雛の確保は兵庫、宮城で2回成功したが、その後個体は死亡した。しかし、飼育下ではつがい限定されているものの、繁殖に成功しており個体数が増えている。

〔活動状況〕

今年も、平成15年2月1日に事業実施方針を決定し、活動に入ったが4月21日をもって事業を終了したので、活動状況を次のとおり報告する。

- 
- |            |  |
|------------|--|
| 2003/02/01 | 平成14年度繁殖期の雛移入事業実施方針について、環境省、日本鳥類保護連盟、日本イヌワシ研究会、日動水協種保存委員会猛禽類繁殖検討委員会が協議し、決定した。    |
| 2003/02/18 | 各地のイヌワシ繁殖状況についてメールで連絡が入る。以降随時メールで連絡。   |
| ~          | 4月21日まで各地の繁殖状況を勘案して雛移入の実   |
| 2003/04/21 | 現に向けて調整したが、条件が整わず14年度事業が終了した。  |
| 2003/03/31 | 多摩より越後・紫のペア孵化せず、青梅・小町ペア2羽孵化のメールあり。   |
| 2003/04/04 | 長野のペアより2羽の孵化確認。1羽を多摩の越後ペアの巣に移入する準備を始める。(4月12日のメールで、長野の雛2羽死亡のため、移入を中止したとの連絡が入った。) |
| 2003/04/12 | 多摩の雛1羽を宮城(北上町)のペアの巣に移入する準備を始める。<br>(4月13日北上町のペアに雛1羽が誕生し、移入を中止したとの連絡が入った。)        |
| 2003/04/14 | 大森山動物園で初めてイヌワシ1羽が自然孵化した。(宮城の野生の雛との交換を考慮したが、大森山では初めての繁殖なので交換を取り止めることにした。)         |
| 2003/04/20 | 宮城の本吉の巣をモニタリングしたが繁殖は失敗   |

したとのメールは入る。

第二雛の捕獲・移入は無理になった。

4月14日多摩動物公園で青梅のペアの雛を越後のペアの巣に移入する試みを行い成功したとのメールが入る。

2003/05/02 大森山の雛の写真、メールで送られてくる。

なお、この保護活動の実施については、飼育下並びに野生のイヌワシ繁殖状況観察のため数多くの人々の協力を得ている。

区分	つがい	最終確認日	状況
	宮城・北上町	4月13日	4日齢程度の雛1羽だけが確認された。
	宮城・東和町	3月26日	抱卵途中で放棄したと思われる。
	宮城・本吉町	4月19日	巣も確認できず、繁殖は失敗したと思われる。
野 外	宮城・河北町	2月25日	去年の雛が付いており、今期の繁殖は難しい。
	長野・飯山市	4月10日	捕獲を試みた第2雛は消失、第1雛も死亡していた。
	滋賀・多賀町	4月13日	20～25日齢で順調に生育中。巣へのアプローチは困難。
	滋賀・永源寺町	4月19日	孵化したが、育雛初期で失敗したと推定。
	円山動物園	4月13日	2/27に第1卵、3/3に第2卵産卵。3/11に1卵破卵。
	大森山動物園	4月16日	4/14に1卵が孵化、1卵目か1卵目が不明、4/16に育雛行動を確認
動物園	八木山動物公園	3月10日	2/9に産卵も、3/2に卵消失。食卵が疑われる。
	多摩動(越後ペア)	4月20日	2/9,13に産卵も孵化せず。4/14に青梅ペアの雛を移入。
	多摩動(青梅ペア)	4月20日	予備ケージに隔離したた3/27,30に孵化と推定される。うち1羽を越後ペアの巣に移入した。

	Fe	Zn	Cu	Mn (ppm乾)	Fe	Zn	Cu	Mn (%)	
飼育下肝臓		1300	310	19	7	79.5	19.0	1.2	0.4

1									
飼育下肝臓	1600	370	20	5	80.0	18.5	1.0	0.3	
2									
野生肝臓 3	3600	99	15	7	97.0	2.7	0.4	0.2	
野生肝臓 4	2900	110	11	9	96.0	3.6	0.4	0.3	
野生肝臓 5	1200	89	13	8	92.0	6.8	1.0	0.6	

---

#### 〔雛移入ができなかった原因〕

次が原因と考えられる。

- 1) 観察を続けているペアの繁殖状況がなかなか掴めなかつたこと。
  - 2) 捕獲を予定していた雛を死亡したこと。
  - 3) 観察していたペアが産卵したが、抱卵を途中で放棄していたこと。
  - 4) 雛が1羽しか孵化しなかつたこと。
- 

#### 〔助成金の使途等〕

178,000円の助成を受け、イヌワシ観察用プロミナー(TSN-664) 1台、同ブラインド 3張などを購入し、残金7,585円を返戻した。

**【閉じる】**